

モーセ組 デイリープログラム

時間	子どもの生活	保育者の援助・配慮	備考
7:00	順次 登園 持ち物の始末 遊び	<p>○保育室の換気・安全・清潔を点検し受け入れの準備をする。</p> <p>○子どもが好きなことをして遊べる環境を整える。</p> <p>○にこやかにあいさつを交わし、子どもの健康状態や機嫌をよく見て、朝のしたくを見守る。</p> <p>○異常を見つけたときは、適切に対処する（特に体調不良・目の充血・外傷 など）。</p> <p>○子どもが保護者と気持ち良くお別れできるように配慮する。</p> <p>○異年齢児がいっしょに過ごす時間なので、互いにかかわりが持てるように過ごす。</p> <p>○順次登園してくる子どもの受け入れや保護者対応が必要な時間なので、保育者の位置に留意し、安全には十分に配慮する。</p> <p>○決まった場所にお片付けをする。自発的にできるよう毎日繰り返す。</p> <p>○水分補給のお水がいつでも補充できるようにキーパーを用意しておく。</p> <p>○職員礼拝の間、お部屋で静かに過ごす。</p>	<p>●異年齢の遊びを予測する。</p> <p>●保護者に直接ようすを尋ねる。</p> <p>●保護者から担任への伝達などを聞き取る</p> <p>●保育者間の連携が重要。</p> <p>●必要な物の準備は事前に保護者に伝える。</p> <p>●保育者もいっしょにかたづけ、楽しいかたづけ方を工夫する。</p>
9:00	お片付け	<p>○水分補給、排泄を済ませ静かに並んでお礼拝に参加する。</p>	
	職員礼拝	○お礼拝の時間は静かにお話を聞く。	
9:30	子ども礼拝	○子どもたちが期待感や意欲を持って遊びができるように導く。	●子どもたちが理解しやすいように話を展開する。
9:45	設定保育	<p>○決まった場所に数を数えながら汚れた玩具は洗ってかたづけるよう、しだいに自発的にできるように毎日繰り返す。</p> <p>○手洗いや足洗い、排せつがきちんとできるかを見守り、できていないところは自分で気づけるように援助する。</p>	
	お片付け	○当番、または手伝いたい人が準備を始めやすいように援助する。	
10:00	手洗い うがい 排せつ	<p>○子どもができることは、安全を図りながらなるべく自主的にさせるようにする。</p> <p>○子どもが配ぜんしやすいように、盛り付けや食具を準備しておく。</p>	
11:45	昼食の準備	<p>○準備ができるまで、手遊び、なぞなぞ、言葉遊びなどをして過ごし、落ち着いて楽しく食事ができるようにする。</p> <p>○食事中、友達と会話をしながらも食事に集中できるように適度に介入し、マナーの大切さを知らせていく。</p> <p>○歯みがき指導を導入して、しっかり自分で見守る。また必要なときはしあげをする。</p>	<p>●テーブルを出す。</p> <p>●配ぜん台を出す。</p> <p>●消毒液につけた台ふきを用意する。</p> <p>●お当番用のエプロン・三角巾</p> <p>●アレルギー食への配慮。</p>

モーセ組 デイリープログラム

時間	子どもの生活	保育者の援助・配慮	備考
15 : 00	着替える	○子どもが自分でしやすいように援助する。	●お湯で湿らせたタオルを準備する。
	排せつ 手洗い	○濡れタオルで体を拭き、気持ちよさを感じる。	
	おやつ	○夏場はシャワーを浴び、汗を洗い流す。	
	歯みがき	○きちんとできているか見守り、できていないところは自分で気づけるように援助する。	
	身じたくをする	○食事時間と同じように配慮する。	
	読み聞かせ	○お当番が自分の役割に気づき、配膳できるよう見守る。	
15 : 30		○歯みがきを見守り、保育者もいっしょに行なう。	●アレルギー食への配慮。
		○汚れ物やタオル、おたより帳などを自分のカバンに入れるよう促す。	
		○徐々に帰りの会に加わるように配慮しながら待つ。	
15 : 45	順次降園	○絵本や紙芝居の読み聞かせ。子どもたちが好きな絵本を自ら選ぶ。	●自発的な気持ちを尊重する。
		○翌日の計画や、何をして遊びたいかなど伝え、明日も期待感や意欲を持って登園できるように子どもたちと話し合う。	
		○配布物はしっかり子ども自らみずからが保護者に伝えられるよう明示する。	
16 : 00	遊び	○確実にカバンに入れたかを見届ける。	●保護者への連絡事項など再確認し、場合によっては引継ぎ事項とする(配布物がある、お迎えの人がいつもと違う、時間が変更している、保育中のけがについて など)。
		○子どものロッカーなどを点検して忘れ物などないか確認する。	
		○迎えの保護者にようすを要約して伝え子どもの行動を視野に入れつつ、コミュニケーションを図る。	
		○夕方の戸外遊びは職員数、異年齢児混合などの状況を考慮して、保育の形態を常に柔軟にとらえ、クラスの枠を超えての連携で保育展開するように心がける。	
		○けがをしやすい時間滞でもあるので安全には十分に注意して過ごす。	
		○子どもたちと一緒に片づけ、きれいに整える。	
16 : 00	読み聞かせ	○帰る際はしっかり汚れを落とすよう見守りながらさりげない援助を行う。	●担任がいるとは限らないので必要なことにおいてはクラスの枠をはずしてかかわるようにする。
		○静かに紙芝居を見て、安心して過ごす。	
		○保護者への伝達をし、忘れ物がないのを見届けて「さようなら」のあいさつを交わし、和やかにお別れする。	
		○お迎えが遅れる子どもが安心して待てるように配慮する。	
	閉園	○明日の受け入れのために保育室を整えて終了する。	●「おかえりなさい」のあいさつとともに、直接伝達事項がない場合にも二言三言の会話を交わしコミュニケーションを図る。